

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例13

<事例概要>

- ・脳出血、人工呼吸管理中
- ・気管切開術後3日目、呼吸器回路を接続したまま体位変換。直後に咳嗽反射があり、呼吸器のチューブブロックアラームが鳴動し、分時換気量が低下。気管切開チューブから吸引カテーテルが入らず、経口やチューブからバッグバルブ換気を行うが抵抗があった。経口挿管やチューブの再挿入を試みたが全身に皮下気腫を認め、アラーム鳴動から約1時間半後に死亡。
- ・死因：換気不全。解剖有、Ai有（気管挿管チューブは縦隔内に迷入）。